

2020年度以降のキャップ&トレード制度について ー基準排出量、削減義務率、再エネ利用ー

東京都キャップ&トレード制度
「削減義務実施に向けた専門的事項等検討会」第5回会合
平成30年8月7日（火）9：30～12：00
第二本庁舎10階210・211会議室

第5回検討会における検討事項

2020年度以降の基準排出量、削減義務率、再エネ利用について、これまでの検討内容及びこれまでに寄せられた対象事業者等からの意見も踏まえ、検討する。

1. 2020年度以降の制度の在り方、方向性を踏まえた取組イメージ
2. 基準排出量について
 - ・「事務局案」と第4回検討会で追加検討事項として提示した「現行の基準排出量の継続」の比較、検討
3. 点検表を活用した省エネ余地の算定結果
4. 削減義務率のレベル感の検討
5. 再エネ利用の拡充策について（資料3）

（参考）第6回検討会における検討事項

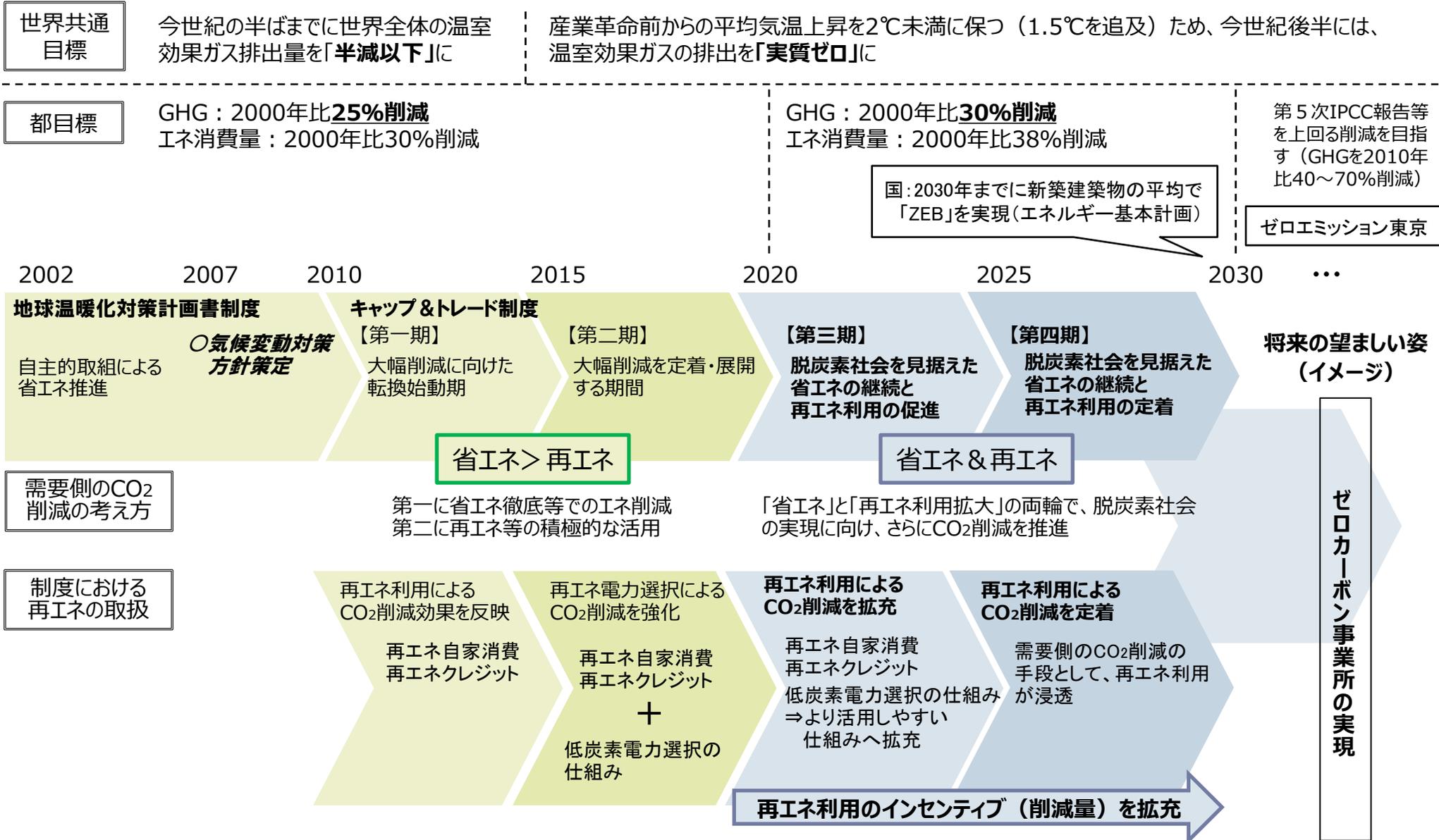
第5回検討会での検討状況を踏まえ、継続して検討が必要な事項等について、検討する。

<主な検討事項>

- 削減義務率等について（区分毎の削減義務率、バンキング等）
- 新規事業所等の取扱いについて（新規参入事業所の取扱い、トップレベル事業所の認定の仕組み）
- 第5回検討会から継続して検討が必要な事項

1. 2020年度以降の制度の在り方・方向性を踏まえた取組イメージ

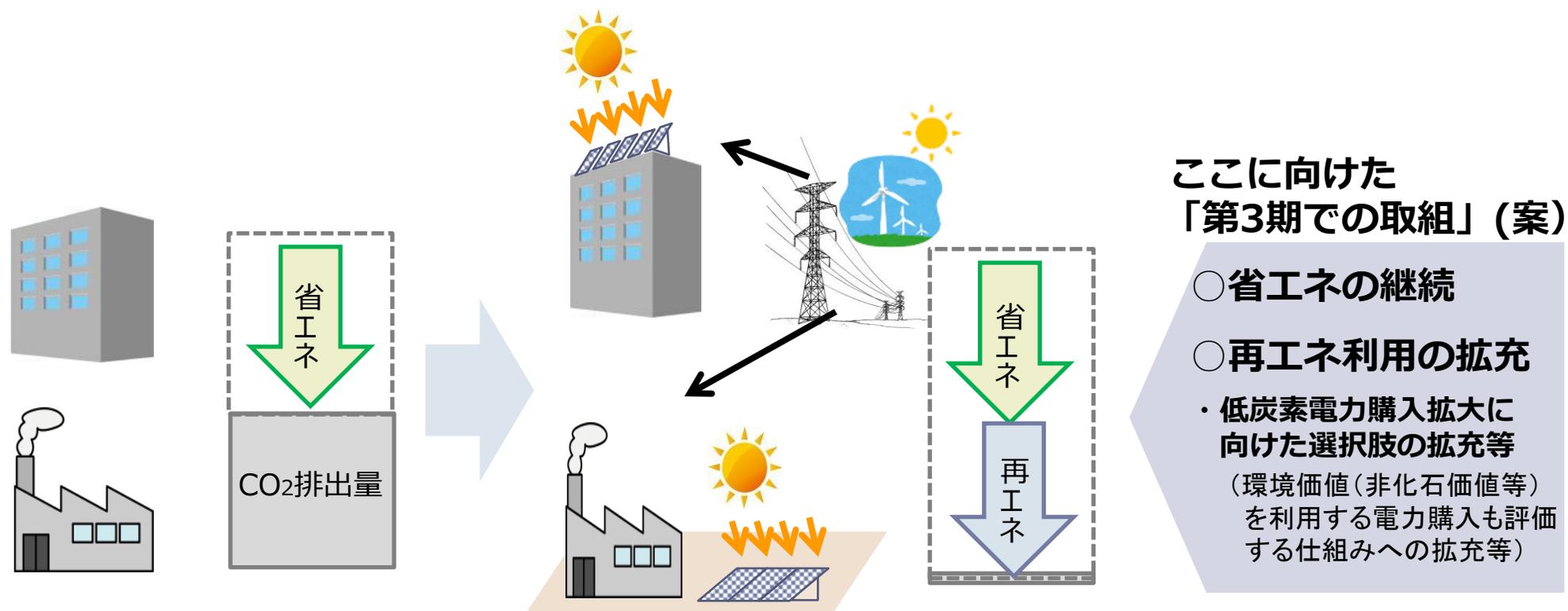
<2020年度以降（第三、四期）の取組イメージ>



1. 2020年度以降の制度の在り方・方向性を踏まえた取組イメージ

(参考) 将来の望ましい姿 (ゼロカーボン事業所) のイメージ

省エネ対策 (建築物・設備の省エネ性能の向上、運用時の効率化等) と併せて、オンサイトでの再生可能エネルギーの活用や再エネ電力の調達等により、年間CO₂排出量が正味 (ネット) で限りなくゼロに近い事業所



ここに向けた
「第3期での取組」(案)

- 省エネの継続
- 再エネ利用の拡充
- ・ 低炭素電力購入拡大に向けた選択肢の拡充等
(環境価値(非化石価値等)を利用する電力購入も評価する仕組みへの拡充等)

省エネ事業所

(建築物・設備の省エネ性能の向上、
運用時の効率化等)

CO₂排出量が正味で限りなくゼロに近い事業所

(省エネ対策
+ 再生可能エネルギー利用の拡充 (設備設置や再エネ電力の調達等))

2. 基準排出量について

① 基準排出量に関する追加検討事項

第1回検討会において、「現状からの取組レベルの明確化」を目指した案として「新たに基準排出量を設定」する案を提示。それに対して対象事業所等から寄せられた、「これまでの削減実績の反映方法に関するわかりやすさ」や「削減への取組継続に向けた制度としてのわかりやすさ」等を求める声を踏まえて、**現行の基準排出量を継続することについても、検討が必要ではないか。**

＜「新たに基準排出量を設定」する案と「現行の基準排出量を継続」する案の整理＞

| 案 | 考え方 | 参考 | | | 対象事業者等から寄せられた意見等 |
|--|---|---|--|--|---|
| | | 削減義務率の目安 | 2030年大規模事業所目標排出量 | 超過削減量の取扱等※1 | |
| <p>第1回検討会(2018.3.28)において提示した事務局案</p> <p>新たに基準排出量を設定</p> | <p>●取組レベルが平準化したと考えられる震災以降を新たなスタートラインに、さらなる省エネ等の取組を推進(現状からの取組レベルの明確化を目指した案)</p> <p>(設定方法)「現行の基準排出量」ではなく、制度開始後の2011年度以降の最大排出量から設定</p> | <p>第三期平均7%</p> <p>第四期平均17%(参考値)</p> <p>*現行基準からの削減義務率も、参考値として提示する必要性は有</p> | <p>10.78百万トン※2</p> <p>*いずれの基準排出量でも、2020年度以降の削減義務率は、2030年の大規模事業所の目標排出量からのバックキャストで設定</p> | <p>・翌期までバンキング可能(現行規定どおり)</p> <p>*基準排出量及び削減義務率が第二期より縮小することにより「削減義務量(トン数)」の大きさも縮小するが、第二期の超過削減量の減量調整等は行わずそのまま活用</p> | <p>・既に大幅削減を達成した事業所に追加削減が求められ、積極的に削減に取り組んだ事業所にとって不公平</p> <p>・基準排出量を見直すのであれば、これまでの削減努力・成果が評価されなくなるため、第一、二期の超過削減量は、翌期だけでなく複数期へのバンキングを認めてほしい</p> <p>・新たな基準排出量からの削減義務率は、第二期より義務が緩くなったと経営者やテナント等の関係者の誤解を招き、削減対策を進める上で障害になることも懸念</p> <p>・分かりづらい、事務負担が増える 等</p> |
| <p>現行の基準排出量を継続</p> | <p>●削減義務制度開始前の排出量を基点に、省エネ等を推進</p> <p>(設定方法)制度開始前の2002～2007年度までのいずれか連続する3か年度の平均排出量</p> | <p>第三期平均27%</p> <p>第四期平均35%(参考値)</p> <p>*スライド5参照</p> | | <p>・翌期までバンキング可能(現行規定どおり)</p> | <p>・現行基準からの削減義務率を示された方が分かりやすく、関係者へも説明しやすい。早期の取組が反映できる。</p> <p>*第三期には、基準排出量の設定年度が20年前のものとなり、基準排出量を変更する手続きには対象事業者の協力が必要(20年前のエビデンスの提出等)※3</p> |

※1 現行規定では、早期削減を促すため、超過削減量は翌期までのバンキングを認めている。

ただし、対策によらず排出量が大幅に削減した事業所に不当に利益が生じないよう、超過削減量の発行は、年度毎に基準排出量の1/2を超えない範囲に制限している。

また、早期に一定以上の削減実績をあげた事業所は、翌期を待たずに当期の2年度目から超過削減量を取引に活用できる仕組みとしている。

※2 2016年度からの電力小売全面自由化に伴い、各小売電気事業者から直接部門毎の販売電力データが把握可能になったため、実績についても過去に遡って再算定。部門別の温室効果ガス排出量の内訳が変動したことに伴い、大規模事業所の目標排出量も再算定したが、その影響は少ないため、削減義務率の目安に変更はない。

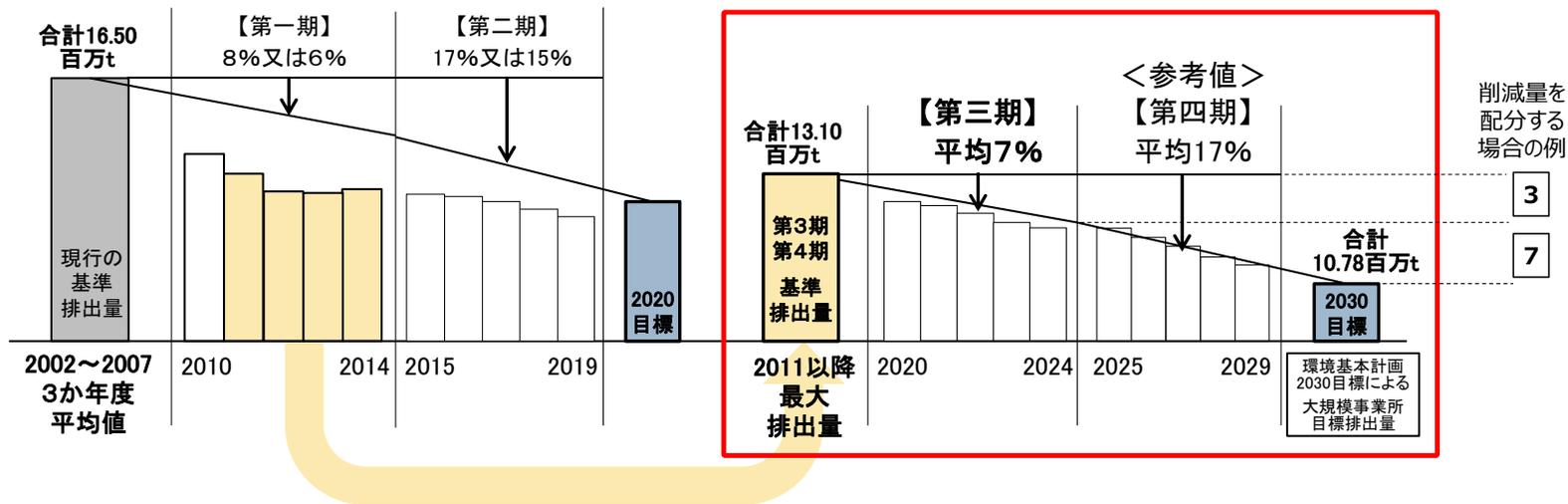
※3 建物の増(減)築や工場内の設備の増設(撤去)等があった場合の基準排出量を変更する手続きにおいて、基準排出量の設定年度以降の変更事象を示すエビデンス(建物の規模、用途が分かる登記簿等や、設備の種類、台数、設置(撤去)時期等が分かる資産台帳等)が必要となる。

2. 基準排出量について

②削減義務率の目安 ※2030年までの必要削減量を第三期と第四期とで3:7に配分した場合の算定結果

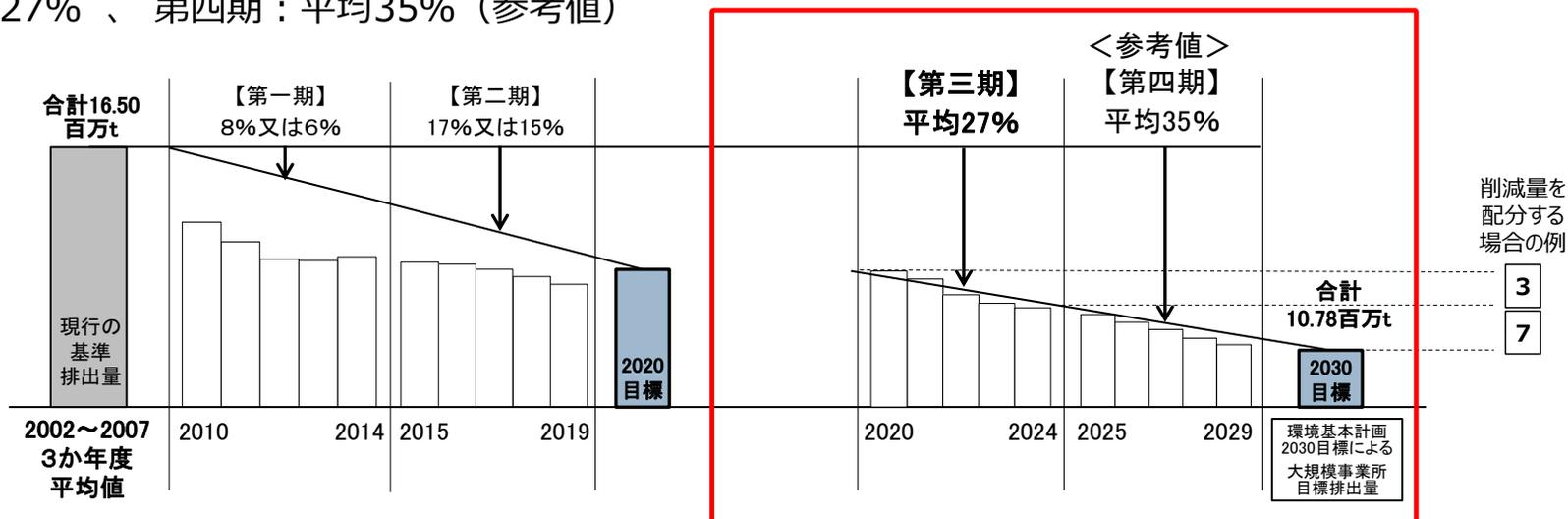
【新たに基準排出量を設定する場合】

第三期：平均7%、第四期：平均17%（参考値）



【現行の基準排出量を継続する場合】

第三期：平均27%、第四期：平均35%（参考値）

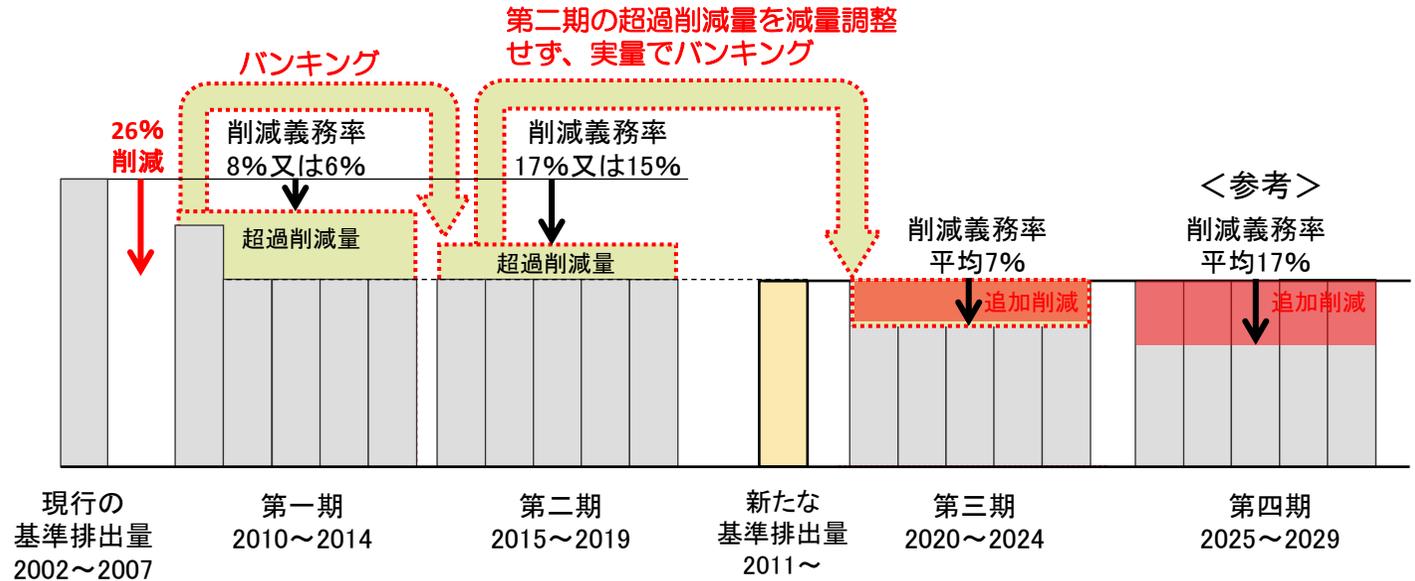


2. 基準排出量について

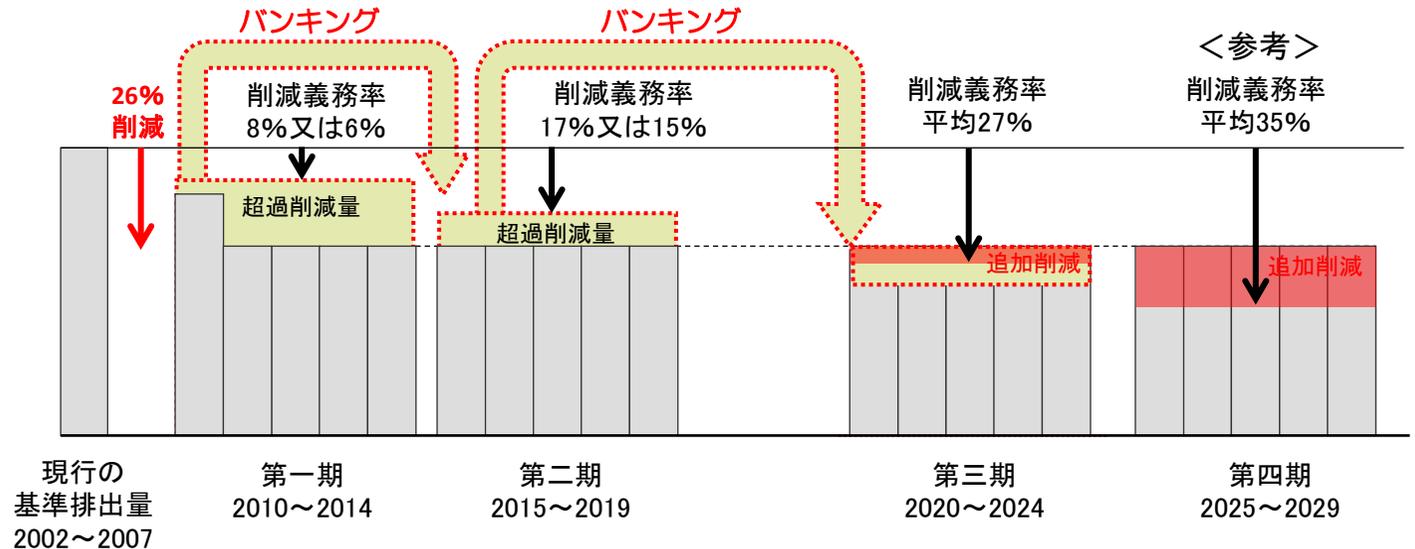
③ 基準排出量の考え方の違い（イメージ）

【削減実績26%程度が継続した事業所の例】

新たに基準排出量を設定する場合のイメージ



現行の基準排出量を継続する場合のイメージ

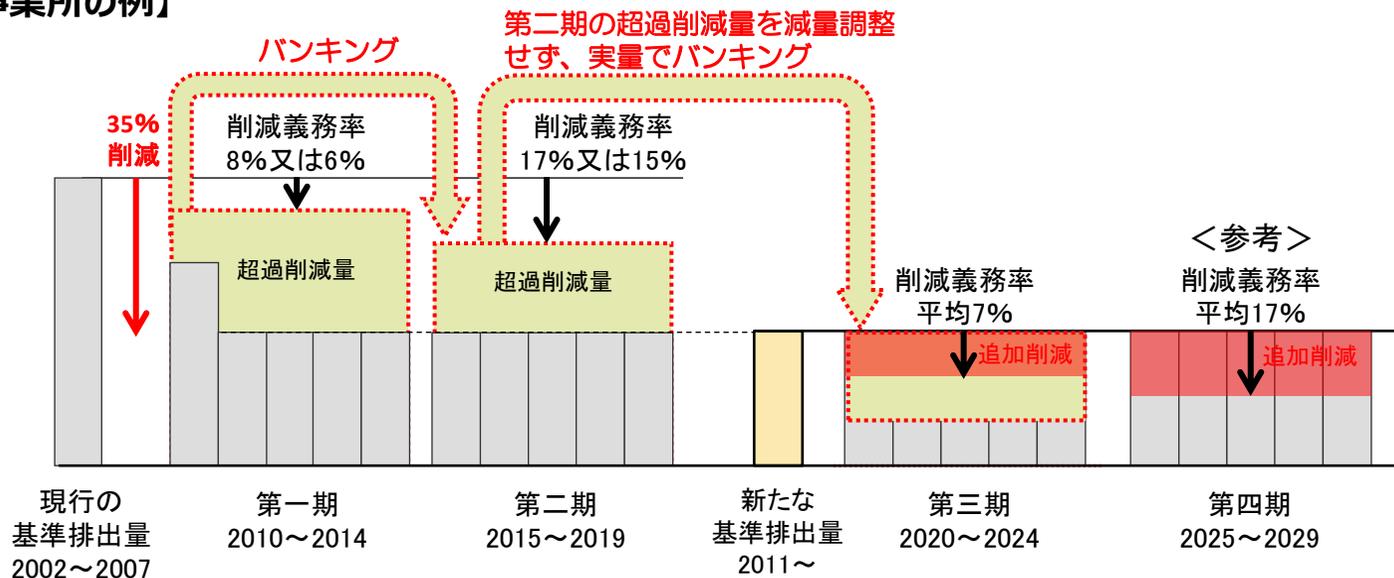


2. 基準排出量について

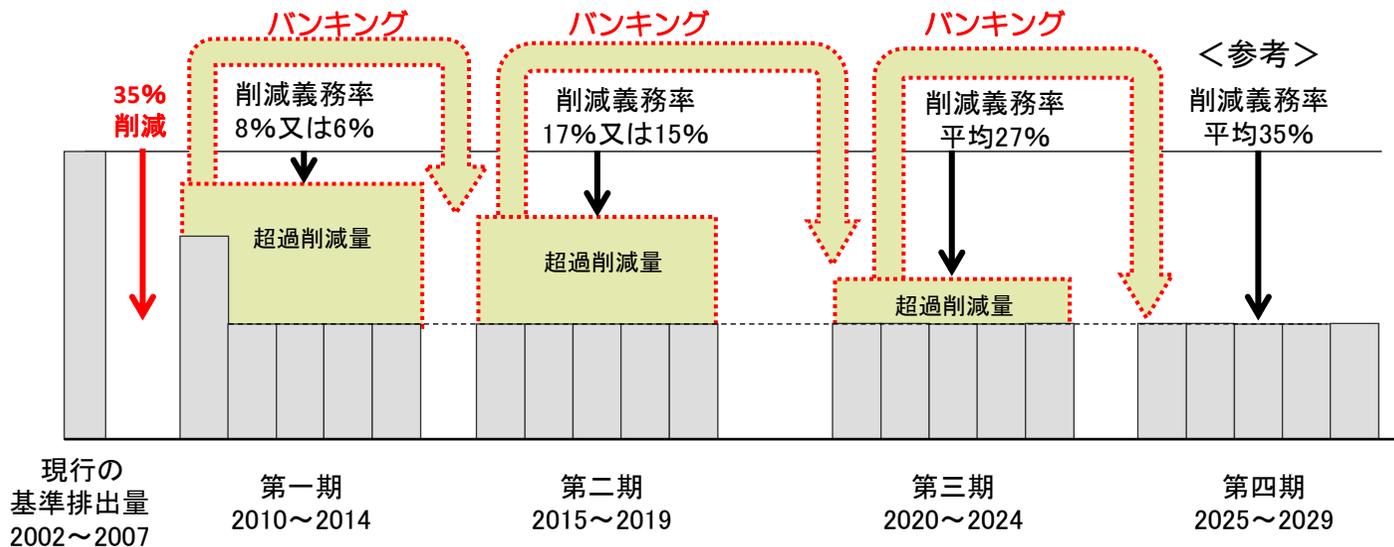
③ 基準排出量の考え方の違い（イメージ）

【削減実績35%程度が継続した事業所の例】

新たに基準排出量を設定する場合のイメージ



現行の基準排出量を継続する場合のイメージ



3. 点検表を活用した省エネ余地の算定結果

① 省エネ余地算定の考え方について（第2回検討会において検討済）

- ・省エネ余地は、対象事業所から提出された「点検表」に記載されている対策実施状況や設備機器等のデータを基に算定※1
- ・余地を算定する省エネ対策は現在利用可能な省エネ技術を対象とし、設備機器のエネルギー消費先比率を用途別（全14用途）に設定するなど、用途の特性も踏まえて算定※2
- ・また、設備更新対策による省エネ余地は、事業所内に設置されている設備機器のうち、更新時期※3を超える機器を対象に算定
- ・実際に各対策を実施する上での実現可能性を考慮するため、対象事業所全体の実施状況や投資回収年数を踏まえ、点検表の各対策の省エネ余地を補正（低減）※4

※1 2015年度に提出された点検表(2014年度実績)を基に、第3期まで(2024年まで)の省エネ余地を算定

※2 同時に実施できない対策について、重複して省エネ余地を算定しないよう考慮

※3 法定耐用年数に実際の事業所の運用における改修年数の実績等を考慮し、設備毎に設定(熱源:法定耐用年数15年+5年⇒20年に設定)

※4 対象事業所の取組の進捗が低い対策や、投資回収年数が長い対策について、用途別に実施可能率(1.0以下)を設定して省エネ余地を低減(高効率熱源機器の導入:実施可能率0.3程度)

② 省エネ余地の算定結果

○ 省エネ余地の中程度～大きい対策の例（省エネ余地：0.5～1.0%程度）

- ・高効率照明機器、高効率熱源機器、高効率空調用ポンプへの更新などの省エネ効果が高い設備更新対策
- ・CO₂濃度による外気量制御や外気冷房システムの導入等、省エネ効果が比較的高い制御系の対策

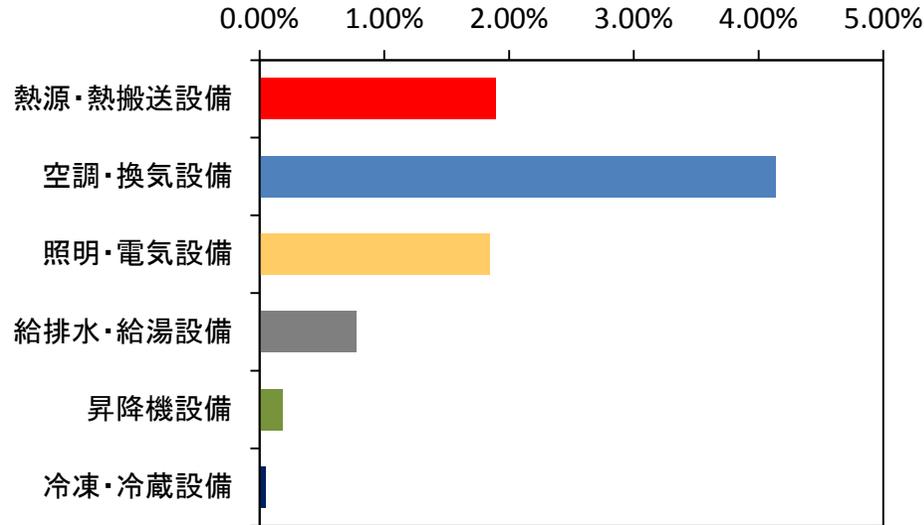
○ 省エネ余地の小さい対策の例（省エネ余地：0.1%未満）

- ・居室以外の照度や設定温度の緩和、インバータ制御系統のバルブの開度調整、エレベータ機械室や電気室の温度制御の導入等、多くの事業所で取組が進んでいる運用対策

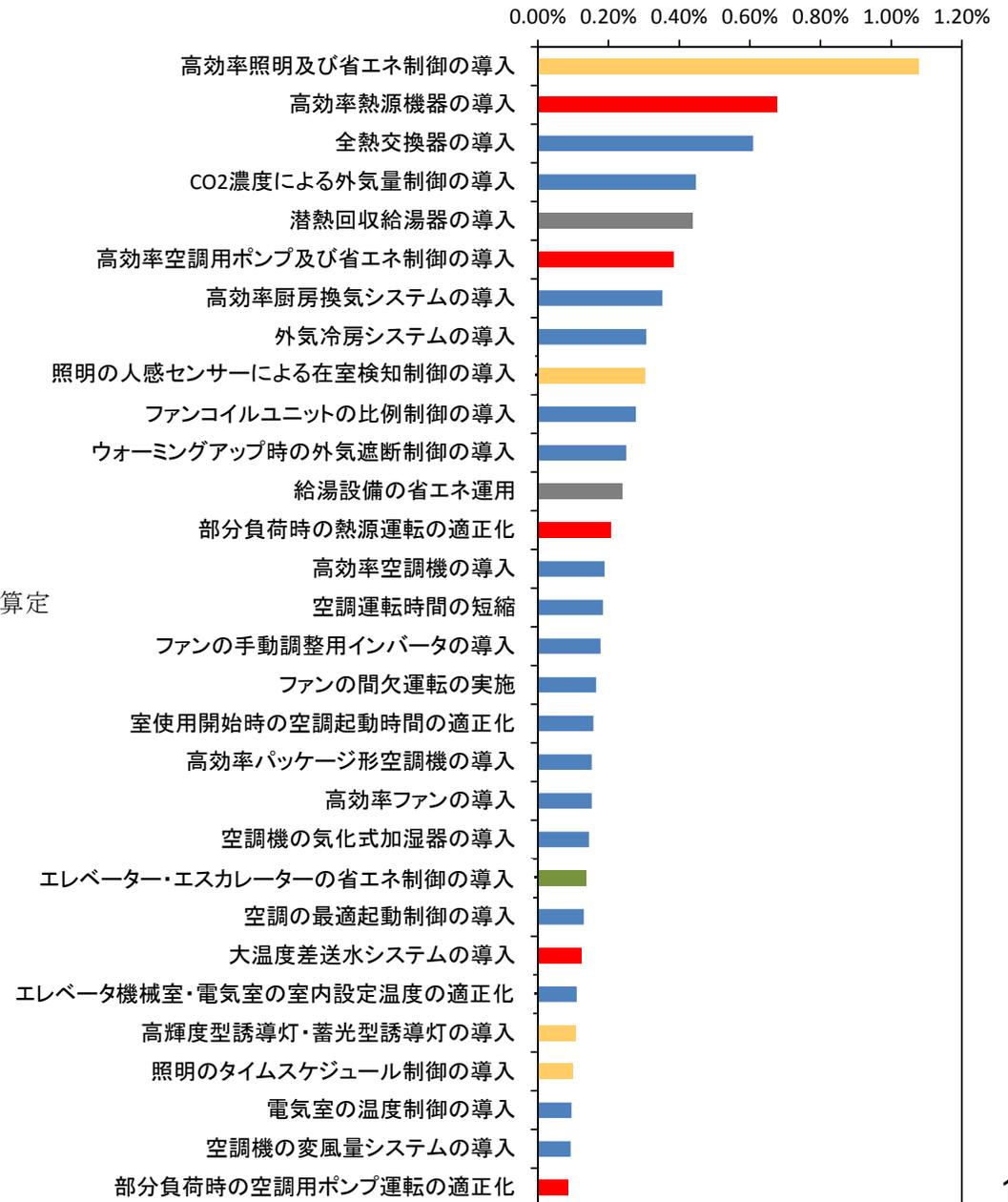
3. 点検表を活用した省エネ余地の算定結果

【各対策の省エネ余地】

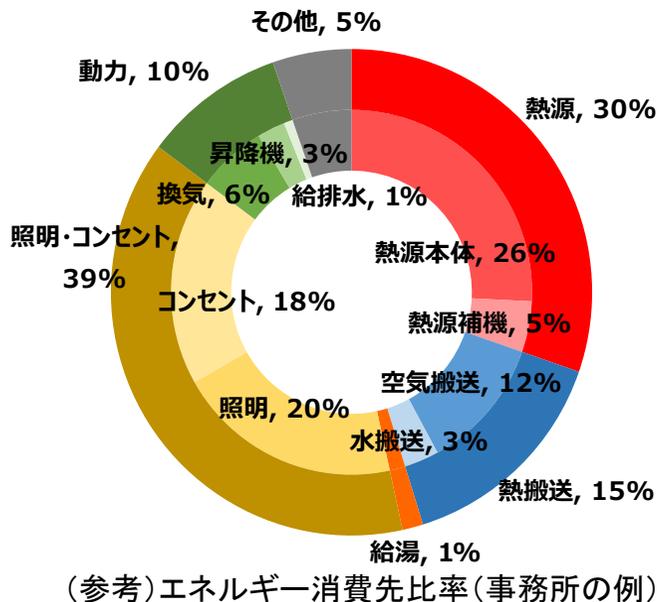
〔対策分類別の省エネ余地〕(区分 I 事業所の単純平均)



〔対策別の省エネ余地(上位30)〕(区分 I 事業所の単純平均)



※上記に加え、ビルエネルギーマネジメントシステム等の導入及びそれを活用した運用管理へのフィードバック、利用者へのエネルギー見える化等による省エネ余地も算定

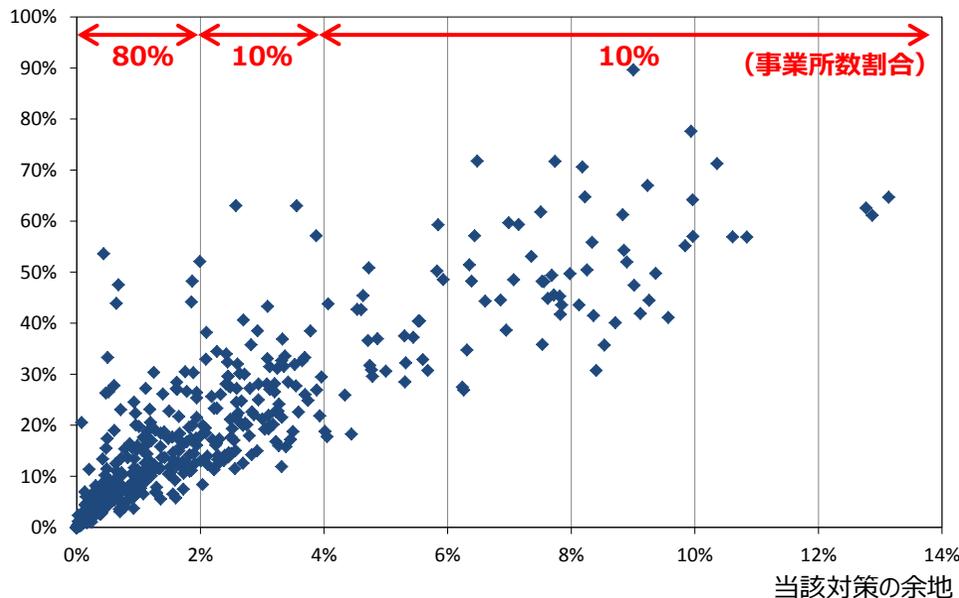


3. 点検表を活用した省エネ余地の算定結果

【高効率照明及び省エネ制御の導入の省エネ余地】

全対策の省エネ余地に対する当該余地の割合

各事業所の省エネ余地 (区分 I 事業所)

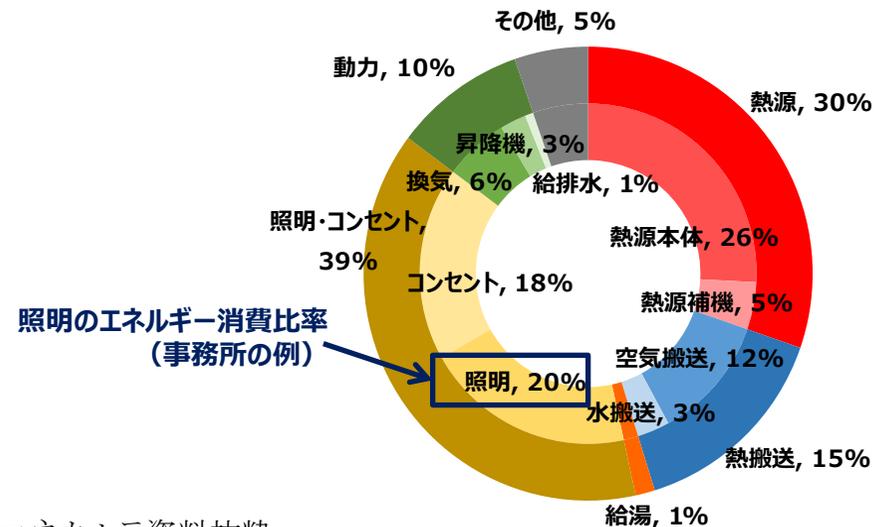


2024年度における省エネ余地 (単純平均) : 約1.1%

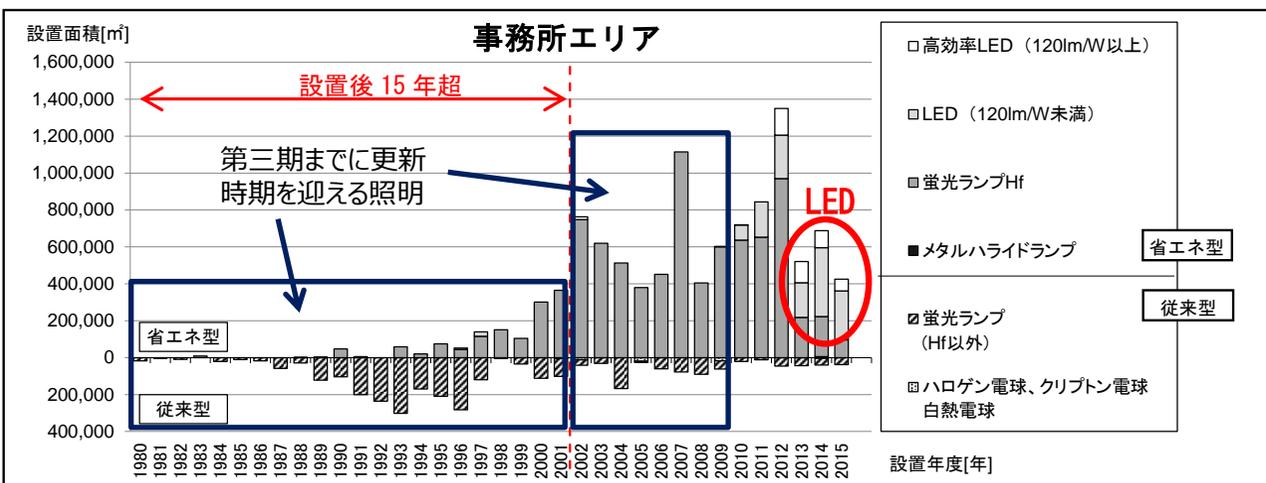
2024年度における省エネ余地 (最大値) : 約13%

対象事業所全体の2024年度における省エネ余地 : 約9万t

※区分 I 事業所の「2014年度排出量×省エネ余地(%)」の合計



(参考) 事務所エリアの設置年度別の照明器具 (2015年度実績) ※省エネカルテ資料抜粋



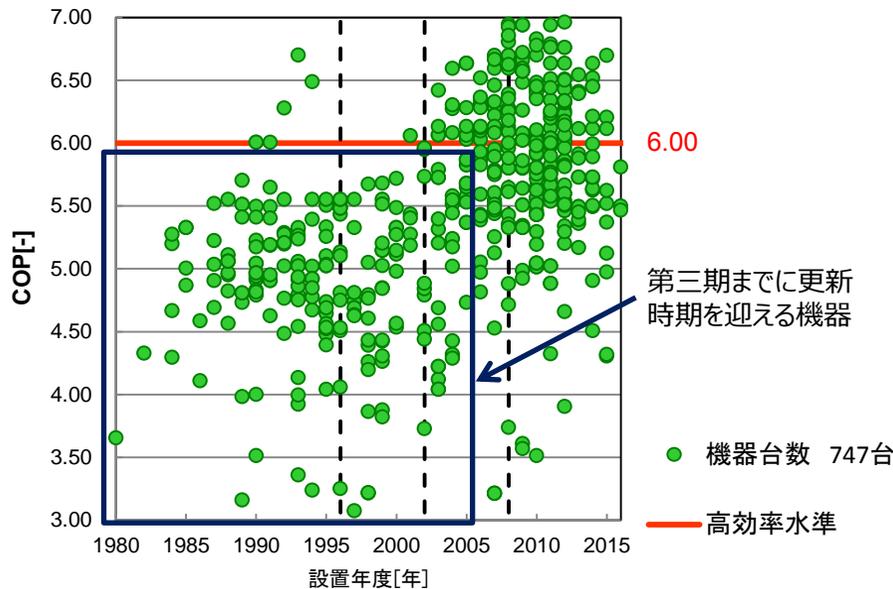
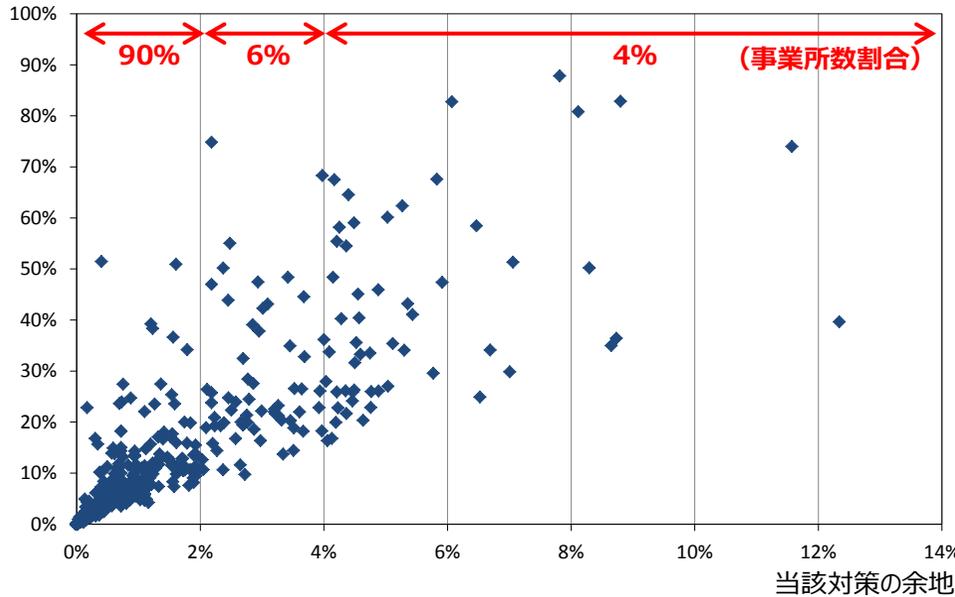
- ・事務所用途では、2000年以降、省エネ型のHf照明の設置が進み、近年設置されているものの多くはLED照明である。
- ・一方、設置後15年以上経過している従来型の照明器具も全体の15%存在している。
- ・2000年以降に設置されたHf照明についても、第三期までには設置後15年以上となるものもあり、従来型の照明機器と共に、これらがLED化されることで、追加削減が見込まれる。

3. 点検表を活用した省エネ余地の算定結果

【高効率熱源機器の導入の省エネ余地】

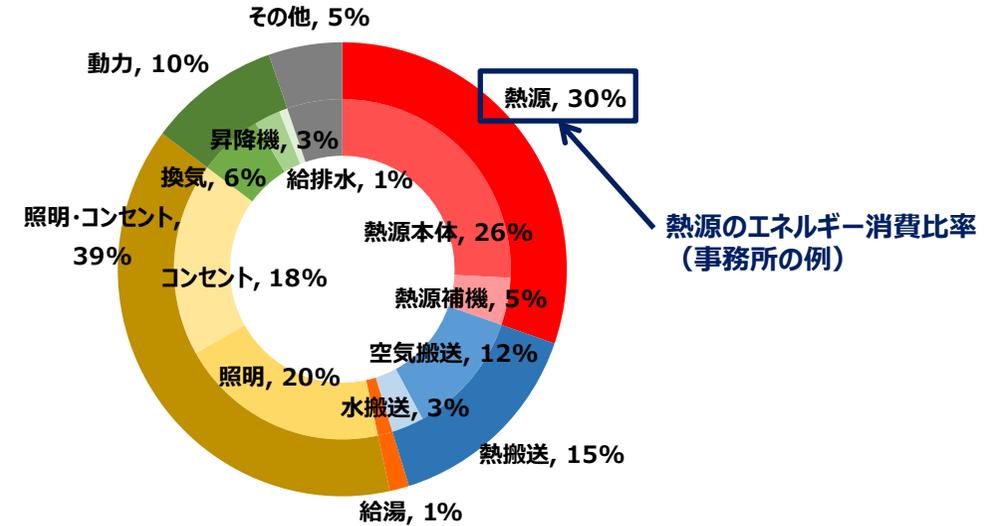
全対策の省エネ余地に対する当該余地の割合

各事業所の省エネ余地 (区分 I 事業所)



2024年度における省エネ余地 (単純平均) : 約0.7%
 2024年度における省エネ余地 (最大値) : 約12%
 対象事業所全体の2024年度における省エネ余地 : 約6万t

※区分 I 事業所の「2014年度排出量×省エネ余地(%)」の合計



(参考) ターボ冷凍機の設置年度別の機器COP分布 (2015年度実績)

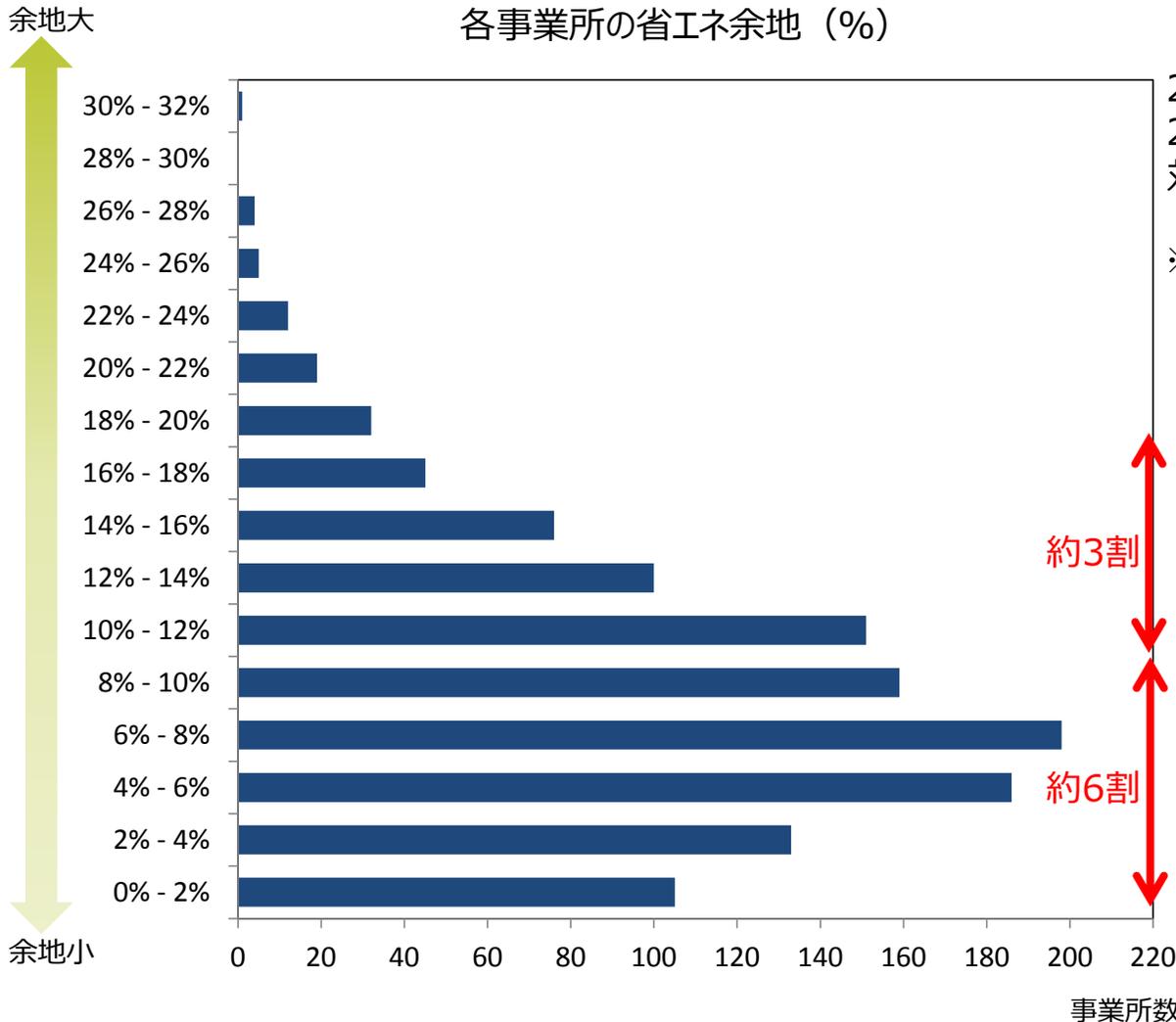
※省エネカルテ資料抜粋

- ・近年設置されているターボ冷凍機は高効率化の傾向が見られる。
(新設、更新の際に高効率な機器が選択)
- ・一方、設置後20年超経過した機器の中には、COPの低い機器も存在 (全体の2～3割程度存在)
- ・このようなCOPの低い機器が設置されている事業所では、更新時に高効率化することで追加削減が見込まれる。

3. 点検表を活用した省エネ余地の算定結果

【全対策の省エネ余地】

$$\text{各事業所の省エネ余地 (\%)} = 1 - (1 - \text{対策1の省エネ余地}) \times (1 - \text{対策2の省エネ余地}) \times \dots \times (1 - \text{対策nの省エネ余地})$$



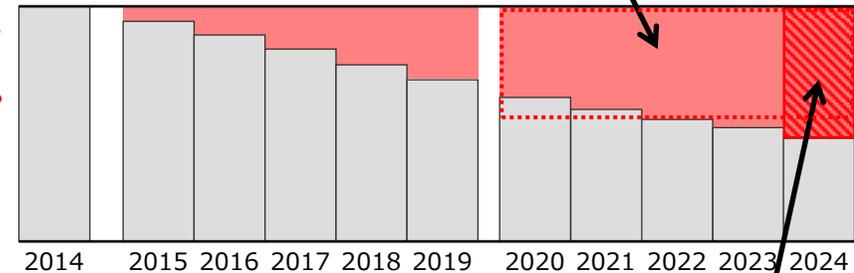
2024年度における省エネ余地 (単純平均) : 約9%
 2024年度における省エネ余地 (最大値) : 約33%
 対象事業所全体の2024年度における省エネ余地 : 約100万t

※全対象事業所(約1,200事業所)の「2014年度排出量×省エネ余地(%)」の合計

2015年度以降、2024年度まで毎年度、
 同じ量の削減量が追加されると想定した場合の
 第三期における削減見込み (約400万t)
 (第三期平均 (約80万t/年))

約3割

約6割

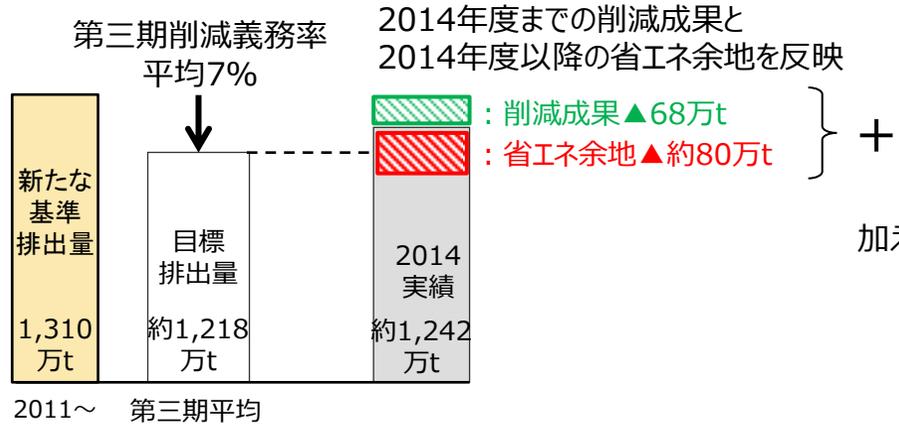


2024年度における省エネ余地
 2014年度排出量×省エネ余地 (%) : 約100万t

4. 削減義務率のレベル感の検討

第三期の目標排出量と総排出量の比較

【新たに基準排出量を設定する場合】



低炭素電力の利用等による削減量（拡充）

加えて、

早期取組の成果
(第二期からのバンキング)
5か年分計 約1,000万t

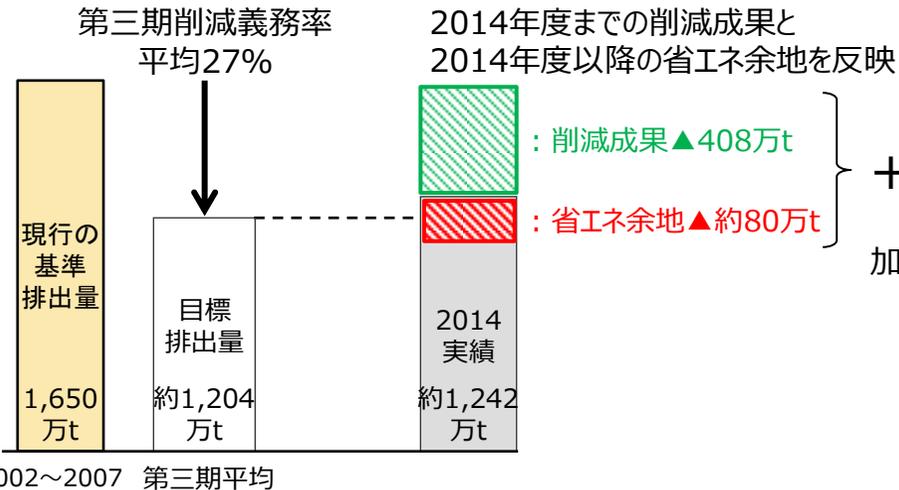
排出量取引

(参考)

対象事業者等から寄せられた意見等

- ・第二期より義務が緩くなったと経営者やテナント等の関係者の誤解を招き、削減対策推進の障害になることも懸念
- ・早期削減の努力が反映されず、不公平

【現行の基準排出量を継続する場合】



低炭素電力の利用等による削減量（拡充）

加えて、

早期取組の成果
(第二期からのバンキング)
5か年分計 約1,000万t

排出量取引

- ・現行基準からの削減義務率が示されたほうが分かりやすく、関係者へも説明しやすい
- ・早期削減の努力が反映できる

・区分ごとの削減義務率や新規参入事業所の削減義務率の適用については、次回の検討会で検討
・第四期の削減義務率も見通しとして参考に示しているが、第四期開始前に改めて検討し、専門家への意見聴取を行った上で決定する。

点検表に記入された各対策の取組状況

2016年度に提出された点検表に記入された各対策の取組状況(2015年度実績)を集計
 対策を実施している事業所数を青色の棒グラフで、実施していない事業所数を赤色の棒グラフで図示

※省エネカルテ資料抜粋

| No. | 点検項目 | 凡例別の事業所数 | 凡例 | | |
|-----------------|-----------------------------|---------------------|---|--|---------------------------------------|
| エネルギーの見える化 | | | | | |
| 1 | ビルエネルギーマネジメントシステム(BEMS)等の導入 | | ①BEMSによるフィードバック見える化、②詳細計測+機器効率管理+フィードバック、③用途別+系統別把握、④用途別把握、⑤課金メータ程度 | | |
| 熱源・熱搬送設備 | | | | | |
| 2 | 高効率熱源機器の導入 | 別途分析 | | | |
| 3 | 省エネ形相当品 | | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥冷却塔無し or 空欄 | | |
| | | ファン | モータ直結形ファン | | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥冷却塔無し or 空欄 |
| | 高効率冷却塔の導入及び省エネ制御の導入 | ファン | 永久磁石(IPM)モータ | | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥冷却塔無し or 空欄 |
| | | | プレミアム効率(IE3)モータ | | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥冷却塔無し or 空欄 |
| | | 散水ポンプ | 高効率(IE2)モータ | | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥冷却塔無し or 空欄 |
| | | | 永久磁石(IPM)モータ | | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥散水ポンプ無し or 空欄 |
| | | | プレミアム効率(IE3)モータ | | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥散水ポンプ無し or 空欄 |
| | | | 高効率(IE2)モータ | | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥散水ポンプ無し or 空欄 |
| | 冷却塔ファン等の台数制御又は発停制御 | | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥冷却塔無し or 空欄 | | |
| | 4 | 高効率空調用ポンプ及び省エネ制御の導入 | 永久磁石(IPM)モータ | | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥空調用ポンプ無し or 空欄 |
| プレミアム効率(IE3)モータ | | | | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥空調用ポンプ無し or 空欄 | |
| 高効率(IE2)モータ | | | | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥空調用ポンプ無し or 空欄 | |
| 空調用2次ポンプ変流量制御 | | | | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥空調2次ポンプ無し or 空欄 | |
| 空調用1次ポンプ変流量制御 | | | | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥空調1次ポンプ無し or 空欄 | |
| 冷却水ポンプ変流量制御 | | | | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥冷却水ポンプ無し or 空欄 | |
| 空調用2次ポンプ末端差圧制御 | | | | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥空調2次ポンプ無し or 空欄 | |
| 5 | 蒸気ボイラーのエコマイザーの導入 | | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥対象機器無し or 空欄 | | |
| 6 | 大温度差送水システムの導入 | | ①10℃以上、②8℃以上10℃未満、③7℃以上8℃未満、④6℃以上7℃未満、⑤6℃未満、⑥地域冷暖房と同一or冷水無し or 空欄 | | |
| 7 | 蒸気弁・フランジ部の断熱 | | ①熱源回り及び空調機回り、②熱源回りのみ、③空調機回りのみ、④実施無し、⑤蒸気無し or 空欄 | | |
| 8 | 熱交換器の断熱 | | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥熱交換器無し or 空欄 | | |
| 9 | 高効率コージェネレーションの導入 | 別途分析 | | | |
| 10 | 燃焼機器の空気比の管理 | | ①目標空気比、②基準空気比、③基準空気比以上or把握できていない、④燃焼機器無し or 空欄 | | |
| 11 | 冷凍機の冷却水温度設定値の調整 | | ①実施、②実施無し、③水冷冷凍機無し or 空欄 | | |
| 12 | 部分負荷時の熱源運転の適正化 | | ①実施、②実施無し、③熱源機器無し or 空欄 | | |
| 13 | 部分負荷時の空調用ポンプ運転の適正化 | | ①実施、②実施無し、③空調用ポンプ無し or 空欄 | | |
| 14 | 熱源機器の冷水出口温度設定値の調整 | | ①実施、②実施無し、③熱源機器無し or 空欄 | | |
| 15 | 冷温水管、蒸気管等の保温の確認 | | ①実施、②実施無し | | |

点検表に記入された各対策の取組状況

| No. | 点検項目 | 凡例別の事業所数 | 凡例 | | |
|---------|--------------------|--|--|--|--|
| 16 | インバータ制御系統のバルブの開度調整 | | ①実施、②実施無し③インバータポンプ無し or 空調用ポンプ無し or 空欄 | | |
| 17 | 熱源不要期間の熱源機器等停止 | | ①実施、②実施無し、③対象機器無し or 空欄 | | |
| 18 | 空調開始時の熱源起動時間の適正化 | | ①実施、②実施無し、③対象機器無し or 空欄 | | |
| 19 | 熱源機器の点検・清掃 | | ①実施、②実施無し、③熱源機器無し or 空欄 | | |
| 空調・換気設備 | | | | | |
| 20 | 高効率空調機の導入 | プラグファン モータ直結形ファン 永久磁石(IPM)モータ プレミアム効率(IE3)モータ 高効率(IE2)モータ 楕円管熱交換器 | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥空調機無し or 空欄 ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥空調機無し or 空欄 ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥空調機無し or 空欄 ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥空調機無し or 空欄 ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥空調機無し or 空欄 ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥空調機無し or 空欄 | | |
| | 21 | 高効率パッケージ形空調機の導入 | 通年エネルギー消費効率APF 冷暖房平均COP インバータ制御機器 高効率冷媒(R410A) 屋外機の散水システム | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥パッケージ形空調機無し or 空欄 ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥パッケージ形空調機無し or 空欄 ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥パッケージ形空調機無し or 空欄 ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥パッケージ形空調機無し or 空欄 ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥パッケージ形空調機無し or 空欄 | |
| | | 22 | ウォーミングアップ時の外気遮断制御の導入 | | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥対象設備無し or 大半が24時間空調 or 空欄 |
| | | 23 | 空調機の変风量システムの導入 | | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥空調機無し or 空欄 |
| | | 24 | 空調機の気化式加湿器の導入 | | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥対象設備無し or 空欄 |
| | | 25 | 外気冷房システムの導入 | | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥冬季・中間期冷房無し or 空欄 |
| 26 | CO2濃度による外気量制御の導入 | | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤手動調整のみ、⑥導入無し or 対象設備無し | | |
| 27 | ファンコイルユニットの比例制御の導入 | | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥ファンコイルユニット無し or 空欄 | | |
| 28 | 空調の最適起動制御の導入 | | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥全て24時間空調 or 空欄 | | |
| 29 | 全熱交換器の導入 | | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し | | |
| 30 | 大温度差送風空調システムの導入 | | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥空調機無し or 空欄 | | |
| 31 | 高効率ファンの導入 | モータ直結形ファン 永久磁石(IPM)モータ プレミアム効率(IE3)モータ 高効率(IE2)モータ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し⑥ファン無し or 空欄 ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し⑥ファン無し or 空欄 ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し⑥ファン無し or 空欄 ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し⑥ファン無し or 空欄 | | |
| | 32 | エレベーター機械室の温度制御の導入 | | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥EV機械室無し or 空欄 | |
| | 33 | 電気室の温度制御の導入 | | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥電気室無し or 空欄 | |

点検表に記入された各対策の取組状況

| No. | 点検項目 | 凡例別の事業所数 | 凡例 |
|-----|------|----------|----|
|-----|------|----------|----|

空調・換気設備（続き）

| | | | | |
|-------|--|---------------------|--|---------------------|
| 34 | 電算室の冷気と暖気が混合しない設備の導入 | ① ② ③ | ①導入、②導入無し、③情報通信施設無し or 空欄 | |
| 35 | 駐車場ファンのCO又はCO2濃度制御の導入 | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥駐車場換気無し or 空欄 | |
| 36 | 高効率厨房換気システムの導入 置換換気方式又は給排気形フード 外気処理空調機の風量モード切替制御(強中弱等) | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥厨房無し or 空欄 | |
| | | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥厨房無し or 空欄 | |
| 37 | ファンの手動調整用インバータの導入 | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥対象設備無し or 空欄 | |
| 38 | 室使用開始時の空調起動時間の適正化 | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤実施無し、⑥24時間空調 or 空欄 | |
| 39 | 夏季居室の室内温度の適正化・クーリングの実施 | 24℃未満 | ① ② ③ ④ ⑤ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤無し |
| | | 24℃以上25℃未満 | ① ② ③ ④ ⑤ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤無し |
| | | 25℃以上26℃未満 | ① ② ③ ④ ⑤ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤無し |
| | | 26℃以上27℃未満 | ① ② ③ ④ ⑤ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤無し |
| | | 27℃以上28℃未満 | ① ② ③ ④ ⑤ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤無し |
| 28℃以上 | ① ② ③ ④ ⑤ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤無し | | |
| 40 | ファンの間欠運転の実施 | ① ② ③ ④ ⑤ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤実施無し | |
| 41 | 空調運転時間の短縮 | ① ② ③ ④ ⑤ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤実施無し | |
| 42 | 冬季におけるペリメータ設定温度の適正化 | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤実施無し、⑥インテリアと区別無し or 空欄 | |
| 43 | 居室以外の室内温度の緩和 | ① ② ③ ④ | ①エントランスホール及び廊下等で実施、②エントランスホール又は廊下等で実施、③実施無し、④該当室無し or 空欄 | |
| 44 | エレベータ機械室・電気室の室内設定温度の適正化 | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤実施無し、⑥対象室無し or 空欄 | |
| 45 | 空調機等のフィルターの清浄 | ① ② ③ ④ ⑤ | ①月1回以上、②年6回程度、③年4回程度、④年2回程度、⑤1年以上に1回又は実施無し | |
| 46 | 省エネファンベルトへの交換 | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤実施無し、⑥ベルト駆動ファン無し or 空欄 | |

照明・電気設備

| | | | | |
|----|-----------------------|---------------|---|--------------------------------------|
| 47 | 高効率照明及び省エネ制御の導入 | 別途分析 | | |
| 48 | 高輝度型誘導灯・蓄光型誘導灯の導入 | ① ② ③ ④ ⑤ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し | |
| 49 | 高効率変圧器の導入 | 超高効率変圧器 | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥対象変圧器無し or 空欄 |
| | | トッランナー変圧器2014 | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥対象変圧器無し or 空欄 |
| | | トッランナー変圧器 | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥対象変圧器無し or 空欄 |
| 50 | 照明の人間センサーによる在室検知制御の導入 | 廊下 | ① ② ③ ④ ⑤ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し |
| | | 階段室 | ① ② ③ ④ ⑤ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し |
| | | 便所 | ① ② ③ ④ ⑤ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し |
| | | 湯沸室 | ① ② ③ ④ ⑤ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し |
| | | 事務室 | ① ② ③ ④ ⑤ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し |
| 51 | 照明のタイムスケジュール制御の導入 | ① ② ③ ④ ⑤ | ①居室及び共用部に導入、②居室のみに導入、③共用部のみに導入、④導入無し、⑤該当室無し or 空欄 | |
| 52 | 照明のセキュリティ連動制御の導入 | ① ② ③ ④ ⑤ | ①全てに導入、②事務室に導入 or 客室部に導入、③共用部のみ導入、④導入無し、⑤対象用途部分無し or 空欄 | |
| 53 | 居室以外の照度条件の緩和 | 夜間時間帯 | ① ② ③ ④ | ①廊下及び駐車場で実施、②廊下のみで実施、③駐車場のみで実施、④実施無し |
| | | 深夜時間帯 | ① ② ③ ④ | ①廊下及び駐車場で実施、②廊下のみで実施、③駐車場のみで実施、④実施無し |
| 54 | 居室の昼休み及び時間外の消灯及び間引き点灯 | 昼休み消灯 | ① ② ③ ④ ⑤ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤実施無し |
| | | 残業時間一斉消灯 | ① ② ③ ④ ⑤ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤実施無し |

点検表に記入された各対策の取組状況

| No. | 点検項目 | 凡例別の事業所数 | 凡例 |
|-----|------|----------|----|
|-----|------|----------|----|

給排水・給湯設備

| | | | | |
|----|------------------|-----------------------|---------------------------------------|--|
| 55 | 高効率給水ポンプの導入 | 推定末端圧一定インバータ制御ポンプユニット | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥給水ポンプユニット無し or 空欄 |
| | | 永久磁石(IPM)モータ | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥給水ポンプ無し or 空欄 |
| | | プレミアム効率(IE3)モータ | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥給水ポンプ無し or 空欄 |
| | | 高効率(IE2)モータ | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥給水ポンプ無し or 空欄 |
| 56 | 大便器の節水器具の導入 | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥把握できていない or 空欄 | |
| 57 | 自然冷媒ヒートポンプ給湯器の導入 | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥対象機器無し or 空欄 | |
| 58 | 潜熱回収給湯器の導入 | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥対象機器無し or 空欄 | |
| 59 | 洗浄便座暖房の夏季停止 | ① ② ③ | ①実施、②実施無し、③洗浄便座無し or 空欄 | |
| 60 | 給湯設備の省エネ運用 | 季節や用途等に応じた給湯温度設定の緩和 | ① ② ③ | ①実施、②実施無し、③給湯無し or 空欄 |
| | | 貯湯式電気温水器の夜間・休日の電源停止 | ① ② ③ | ①実施、②実施無し、③対象機器無し or 空欄 |
| | | 便所洗面給湯の給湯中止又は給湯期間の短縮 | ① ② ③ ④ | ①通年給湯中止、②夏季の給湯中止、③実施無し ④給湯無し or 空欄 |

昇降機設備

| | | | | |
|----|-------------------------|-----------------------|-------------|--|
| 61 | エレベーター・エスカレーターの省エネ制御の導入 | エレベーターの可変電圧可変周波数制御方式 | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥エレベーター無し or 空欄 |
| | | エレベーターの電力回生制御 | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥エレベーター無し or 空欄 |
| | | エスカレータの自動運転方式又は微速運転方式 | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥エスカレーター無し or 空欄 |

冷凍・冷蔵設備

| | | | | |
|----|---------------|---------------------|-------------|--|
| 62 | 高効率冷凍・冷蔵設備の導入 | 冷凍庫壁面の高断熱化 | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥冷凍設備無し or 空欄 |
| | | 前室の導入 | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥冷凍・冷蔵設備無し or 空欄 |
| | | 搬入口近接センサーによる扉の自動閉閉化 | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥冷凍・冷蔵設備無し or 空欄 |
| | | 着霜制御(デフロスト) | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥冷凍・冷蔵設備無し or 空欄 |
| | | 圧縮機入口ガス管の断熱化 | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥冷凍・冷蔵設備無し or 空欄 |
| | | 冷却器用ファンの台数制御 | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥冷凍・冷蔵設備無し or 空欄 |
| | | 圧縮機インバータ制御 | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ | ①全て、②大半、③半分、④一部、⑤導入無し、⑥冷凍・冷蔵設備無し or 空欄 |